



## 編集後記

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2024-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/2000199">https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/2000199</a>

## 編集後記

今年度も無事、紀要を発行できそうである。ご執筆者をはじめ、関係各位に心よりお礼を申し上げる。

本号の編集プロセスを若干示したい。投稿エントリーの段階（8月30日まで）で8本のご投稿意思表示があり、その後、紆余曲折を経て、原稿提出締め切り（9月30日）に間に合ったご原稿5本を掲載することになった。

さらに、原稿が提出されたのち、編集委員会とのやりとりにより、書式等の変更作業がある。その作業にある程度目途がつき、掲載可能となった原稿のページ数等を編集委員会の方でまとめ、学内事務サイドに引き継ぎ、印刷業者選定作業に入り、年明けにやっと業者が確定、急ぎ入稿と関係する打ち合わせに入った。

この編集後記を書いているのは、ご執筆者による初校作業真っ最中の時期である。

さて、肝心のご原稿だが、本号は研究論文2本、実践研究論文2本、書評が1本、合計5本の論文で構成されている。本学教職員はもとより、教職大学院修了生、修士課程修了生のご執筆者も得て、少数精鋭の多様な論文が掲載されている。本号初の「書評」が掲載されたという点では、記念すべき号でもある。ぜひ、味わっていただければ幸いである。

ところで、2024年の年明けは、大変衝撃的な被害や事故に見舞われた。被害にあわれた方にお見舞いの気持ちを、ご家族や親しいご友人を亡くされたかたには心よりお悔やみの気持ちをお伝える。ここ数年にわたる、世界各地の紛争・戦争に心を痛め、この社会が平和で安心・安全なものになることを、祈るような思いで願わずにはいられない。

スペインの聖堂サグラダ・ファミリアをデザインしたアントニ・ガウディは、その美しさを通じて「他者と平和に暮らすこと」を伝えたかったのだ、と目にした。あの混沌とした建物のなかにそのような願いがあったことを今更ながらに知り、どの宗教にも思いを寄せない私ではあるが、平和を願う方法の多様さと重要さを感じた。

同時に、社会と同様に、そこに所属する教育にも課題は山積している。それをより良いものとしていくよう日々努力している修了生たちの活躍を願うばかりである。

教職大学院研究紀要編集委員会委員長 第14号編集委員 代表 前田輪音